連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう!!

労福協だより

春号
Shizuoka Rofukukyo Dayori
Spring

（一社）静岡県労働者福祉協議会

災害ボランティアネットワーク図上訓練

ゲートキーパー職域広報委嘱式

地域産品づくりの取り組み

ALWF地域セミナー報告

伊東熱海地区労福協合併10周年記念集会

川柳表彰式

福祉基金（ALWF）協会からのお知らせ

シリーズ **運動継承！**
事業団体職員・労福協役員へ
贈る言葉

地区労福協事務局長の
リレートーク　No.12
人物登場

滝山事務局長の1日！密着取材！

静岡県内外の災害ボランティアによる
救援活動のための図上訓練

見つけよう！助け合いのカタチ

3月1日～2日に静岡労政会館で県内外のボランティア団体の関係者約430名が集まり、福祉基金協会・ボランティア協会主催の「第9回災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練」が開催されました。

今回は内閣府が共催団体として名を連ねています。この理由は内閣府が「訓練を最初から作るのは困難だが、静岡で行われて来た経験を活かす」ことで対応していきたいと相談があり、また資金面でも協力があり共催団体として名を連ねました。このことは静岡県で重ねて開催されてきた図上訓練が内閣府から高い評価を受けていたためだと思われます。

図上訓練初日の冒頭、主催者を代表して福祉基金協会の池冨理事長が「災害の備えは重要な課題である。参加された方は、この訓練でお互いに信頼関係を築き、ネットワークづくりをして欲しい。」と挨拶を行いました。

この訓練の目的は、被害想定から対応を検討する「シュミレーション型図上訓練」ではなく、「ワークショップ型図上訓練（頭で考える頭上訓練）」です。

大規模災害時におけるボランティア活動の様々な課題とその解決策を考える中で、地域への理解を深め、県内のみならず県域を超えたネットワークづくりを目指しています。

また、大規模災害、様々な「困ったこと、困るであろうこと＝課題」を考え気づき、お互いにできることや解決のヒントを話合う機会にするためです。

みなさんもご存知のとおり、東日本大震災の被災地では、被災者、支援者において様々な課題が生じました。今後想定されている東海地震・南海トラフ巨大地震でも同様に、また静岡県特有の課題が起こるはずです。

今回の訓練では、参加するボランティア団体に事前課題が設定されていました。県内団体には居住している市町の、災害時に要援護者となる人数や発災時に要援護者が抱える課題を考えてくることでした。また、県外参加団体には、災害支援を行ううえで、得意分野や静岡県の支援先候補が決まっているところがあるかなどでした。また、図上訓練には参加するがプレヤーではなく、ビジター（見学者）としての参加者も約40名いました。東部ブロック労福協の仲間（15名）もビジターとして参加しました。

今回の訓練では県内外団体との絆が一層深まったと思います。今回の絆が末永く続き、災害時にはこの絆が活かされることを願います。また、首都直下地震・南海トラフ巨大地震などの大規模災害への備えとして、各県労福協との協力体制づくりも必要だと感じました。

ゲートキーパー職域委嘱状授与される

2月26日、ロッキーセンター会議室に於いて静岡県から県労福協に「ゲートキーパー」職域広報委嘱状が授与されました。授与式にはテレビ局1社、新聞社1社が取材に来ました。

ゲートキーパーとは、「悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人」のことです。

県内の状況

静岡県内では自殺で毎年800人前後が亡くなっています。一日あたり2名以上の尊い命が亡くなっていて、交通事故死亡者の3倍～5倍になっています。また、男性は女性の3倍以上の自殺者となっています。

自殺の原因

自殺の背景には、心の問題や健康問題、過労、倒産、リストラ、いじめなど社会的要因があると言われています。自殺は個人の問題だけではなく、その多くが、さまざまな悩みや問題を抱えて、心理的に「追い込まれた末の死」と考えられています。

あなたもできる！ゲートキーパー

悩みを抱えた人は、「人に悩みを言えない」、「どこに相談に行ったらよいかわからない」、「どのように解決したらよいかわからない」等の状況に陥ることがあります。周囲の人が悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援に繋げ、見守ることが必要です。特別な役割でなく、誰もが日常生活の中でやっている事です。周りにいる人が、ゲートキーパーの役割も意識することで、悩んでいる人を支えることにつながります。

普及啓発活動

静岡県では3月が自殺対策強化月間にあたり県民が自殺対策におけるゲートキーパーの役割をしり、周囲の悩んでいる人に適切な対応（気づき、声掛け、傾聴）が出来るように普及啓発活動を行います。県からの普及啓発活動の協力要請があり、県労福協は静岡県から職域広報委嘱状を授与され、普及啓発活動に協力して行く事になりました。

県労福協から地区労福協に普及啓発活動ツールを送り、労働組合の掲示板などに啓発のポスターの貼り出しをお願いしました。

また、静岡県では「ゲートキーパー」出張研修会も対応しています。出張研修会を希望する労働組合は県労福協（054-221-6241）までご連絡ください。

地域産品づくりの取り組み

静岡県生活協同組合連合会

生協と農協と漁協で創ったメンチ「静岡発　さばじゃが君」を、皆さんは見たこと、食べたことがありますか？

２０１２年国際協同組合年の静岡県実行委員会には、静岡県労働者福祉協議会や静岡県労働金庫も実行委員会に加わりました。その実行委員会が国際協同組合年に開発し、販売を始めた商品です。県内産素材にこだわりながら、食材としての利用が難しい産品の有効活用をはかった協同組合間提携商品ということで、発売時にはテレビや新聞で取り上げられ話題となりました。

２０１２年以降も、農協・漁協・森林組合と生協でつくる静岡県協同組合間提携推進協議会（提携協議会）が、さばじゃが君の普及に取り組んでいます。２０１３年、さばじゃが君は焼津市の学校給食にもなり、前年の４万個の３倍以上となる１３万個余を販売しました。同時に提携協議会では、第２弾商品の開発に挑戦しています。さばじゃが君の成功と沖縄県での地域商品開発に刺激を受け、協同組合間提携ブランド商品の普及・開発を活動の重点に据えたのです。それ以降、提携協議会では、地域商品づくりをテーマにした講演会を開催するなど、その下地づくりを進めています。

２０１２年国際協同組合年当初から、提携ブランド商品の普及・開発の担当事務局は県生協連が受けています。収穫はあるが販売量が少なくて困っている１次産品や規格外で販路の少ないもの、あるいは地域の困りごとなどを、協同組合同士の提携の力で、商品開発とその販売を通じて解決していくことをめざしています。今、県生協連は「静岡発　さばじゃが君」を開発したチームで「鯖しいたけハンバーグ」なるものの試作検討を行いながら、並行してシカ肉やアカモク（海草）を研究し、その他の素材探しに目を配るなど、頭を悩ませながらも新たな提携ブランド商品づくりに奮闘しています。

さて、これをお読みの皆様、ご期待下さい。来年あるいはその先で第２、第３の静岡県の協同組合間提携ブランド商品が生まれるかもしれません。皆様、期待しながらお待ちください。

～次代を担う若手リーダーの育成を目指して～ 2013年度『ALWF 地域セミナー』開催

福祉基金協会の教育事業の一つである2013年度「ALWF地域セミナー」が、２月７日東部地域(会場:「沼津リバーサイドホテル」)、２月１４日(会場:浜松「呉竹荘)、２月２１日(会場:静岡「クーポール会館」)の三会場に於いて延べ１５０名余の参加者で開催されました。

このセミナーの開催目的としては、“自主福祉運動への理解を得て将来を担うリーダーの育成”と“労働組合及び福祉事業団体への意識を高め参画と実効を目指す”として、就任３年以内の役員経験が短い労働組合役員が参加対象です。

要約すれば、“労働者福祉運動入門コースの初級編”としての位置づけをしております。労働組合の役員に就いた途端に「労福協活動」への参加、そして「労金」「全労済」の取組推進をすることが求められますが、なぜ「労福協活動」なのか、なぜ「労金」「全労済」の取組推進をしなければならないのかなど、事業団体についての成り立ち・意義などを含め理解していただくことです。

また、日ごろより労組三役の方々であれば、「労働団体・労福協・労金・全労済」など地域で他労組の方々との交流場面がいくつかありますが、役員就任年数が短い執行委員の方々ですとそのような場面も少ないと思いますので、他労組役員の方々との意見交換と交流の場面にしていただければとの主催者側の想いもあります。この「地域セミナー」は毎年開催をしておりますが大変好評を得ており、今年も昨年より改善した方式（分散会の時間を少し多めにとり、ワークショップを実施）を継続しました。

■セミナーの講座内容

1. ①講義　～自主福祉運動の歴史と意義～　『静岡県労働者福祉運動小史』
   講師　静岡県労働者福祉運動小史　講師団
   ②活動報告　～ALWF地域セミナーのみなさん～　『労福協活動について』
   講師　県労福協　事務局長
   ③講義　～静岡労金からの提案～　『ろうきんの活動と制度について』
   講師　静岡労金職員
   ④講義　～全労済からの提案～　『生活保障設計運動について』
   講師　全労済静岡県本部職員
2. 分散会＆ワークショップ
   分　散　会
   自己紹介・講義、活動報告を受けての懇談&意見交換
   ワークショップ
   「運動小史・労福協」「労金」「全労済」について考察
3. 交流会

セミナー風景

分散会報告<成果物発表>

分散会ワークショップ風景

■参加者アンケートの主な感想

運動小史：自主福祉運動の歴史から、労金、全労済の設立までの状況を学び、良く理解できました。当時の情熱を見習い、今後の組合運動に役立てたい。

労福協：労福協の生い立ち、役割、活動内容について理解する事ができました。HPやブログをチェックしようと思います。

労金：ろうきんと組合の活動の結びつきについて、良く理解できました。新しいオンラインシステムに移行後、お得な事がたくさんありました。他の組合員ともこの情報を共有できたら、と思いました。

全労済：全労済は生協法に基づき設立され、ろうきん同様労働者に対して共済事業を行っている事が理解できました。また、最低必要保障について理解を深めることができました。　等々・・・・・

総じて、セミナーに参加して、自主福祉運動の歴史・労福協・労金・全労済について理解を深めることができ、良いところを取り込み今後の実践活動を広めていきたいとか、分散会においては、他労組の取組が紹介され懇談・交流もできて新しい気づきもあった、ワークショップを盛り込んだことで、皆と打ち解けることができ、意見交換及び考え方が確認できて大変有意義であった、等の感想をいただきました。

伊東熱海地区統合10周年記念集会「新春のつどい」開催

伊東熱海地区労福協は、伊東地区、熱海地区の両労福協が2003年11月に統合して発足しました。統合10周年の記念事業について幹事会で検討を重ね、①記念のクリアファイル作製、②ささやかながら10周年を祝う集会の開催、の2つを決定しました。②について、例年開催している「新春のつどい」を記念集会として位置づけることとしましたが、開催地も伊東から熱海に移し、熱海地区の組合員も参加しやすいように、との案が採用されました。熱海は、50年前に県労福協の結成総会が開催された場所でもあり、10周年の歴史を刻む地として申し分ありません。かくして1月24日、「2014年新春のつどい」がＫＫＲホテル熱海にて開催されました。

例年より多い76名の参加者を得て、庭野事務局長の司会で進行、小島副会長が開会の辞をのべ、土屋会長が10年を振り返りました。続いて、来賓として田邉熱海市副市長に挨拶いただいた後、中央労福協の高橋均氏に「労働者福祉運動の理念と歴史、そして課題」というテーマで講演いただきました。

観光を主産業とする当地区では、昨年のつどいで講演「伊豆半島ジオパーク」を実施するなど、テーマに工夫を重ねてきましたが、今回の集会では、統合10周年の節目に、労福協運動の原点を確認し合おうという趣旨から、高橋氏に講演をお願いしました。高橋氏の講演は県内各地区の自主福祉討論会でもお聴きの方が多いと思いますが、たいへん幅広い内容で、参加者は初めて耳にすることの多さに、新鮮な驚きをかくせませんでした。

講演後は、山本特別幹事が乾杯の音頭を取って懇親会が始まりました。テーブルごとのチーム対抗で行ったダーツゲームが大好評！高橋講師、金指県労福協専務理事にも参加いただき、杉山副会長が絶妙の仕切りで盛り上げ、豪華賞品を皆さんにお持ち帰りいただきました。賞品には、熱海市が力を入れている熱海ブランド「ＡＴＡＭＩ COLLECTION A-PLUS」の認定商品もたくさん含まれ、好評を博していました。閉会の辞は清水副会長が担当し、10年前の統合設立総会にまつわる思い出を語りながら、盛会のうちに記念集会を閉じました。

伊東熱海地区の環境は引き続き厳しいものがありますが、10周年を機に労福協運動の原点に立ち返り、地域の勤労者福祉を追究してまいります。伊豆縦貫道も整備されました。皆様、伊豆においでください。お待ちしています！

第9回 入選作品が決定しました

県退福協・ろうきんグリーン友の会県連絡会共催（ライフサポートセンター友の会後援）の第９回の川柳募集は、昨年11月1日から29日までお題を「備え」として募集しました。今回も２５６点と、大変多くの方からご応募いただきました。

12月12日に川柳審査会を開催し、左上の作品が入選しました。また、1月22日に表彰式を行いました。

最優秀賞 おい何処だ　備えのリスト　喧嘩種　鈴木のぶ江（磐田市）

優秀賞 中身より　日付で選ぶ　非常食　岩田光雄（焼津市）

優秀賞 子の老後　案じ備える　高齢者　杉浦鈴子（磐田市）

優秀賞 金もなし　寒さに備え　猫を飼う　福崎敦子（静岡市駿河区）

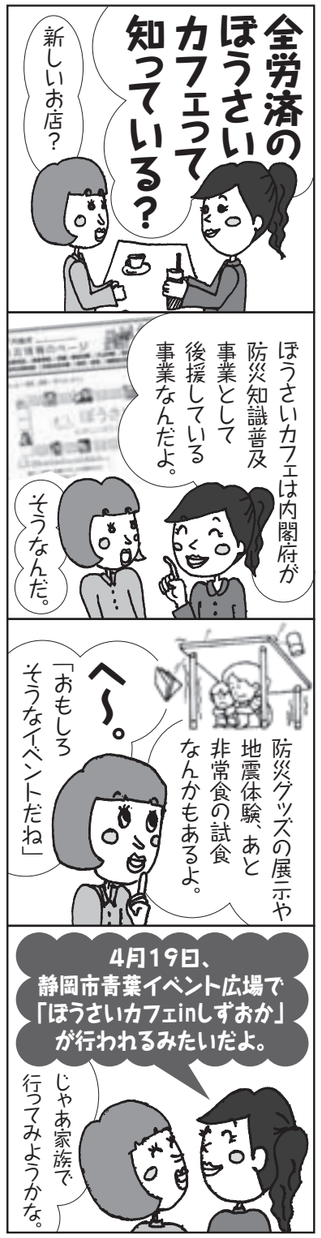
優秀賞 オレオレは　老後の備えが　ターゲット　小石美代子（裾野市）

優秀賞 核のゴミ　備え無いのに　まだ貯める　土屋周治（伊東市）

講評

お題「備え」辞書などに依りますと、将来（又は近く）起こることに、うまく対応できるよう条件を整えておくこととあります。これを作句の上から考えますと、大きくは防災のこと、老後のこと、子供のことなど細かくは、明日の旅行のこと、夕飯の支度などなどと言えます。そんな中から、明るく又前向きな作品をいただきました。川柳を作る時は、「のびのび、自分の気持ちをストレートに表現して欲しい」と多田先生は話していました。

労福協ってなあ～に！ パート32



ぼうさいカフェinしずおかの問い合わせは
全労済インフォメーションセンター
054-254-1180まで

(公財)静岡県労働者福祉基 金協会からのお知らせ

ロッキーカレッジのご案内

【楽しく食べて、健康に!】参加者募集!

食事を楽しむことの大切さや、コレステロール、カルシウムとからだのメカニズム、肥満とやせ過ぎがもたらすリスクなどについて、マヨネーズやドレッシングの研究開発をしていた方から詳しく学びます。

◆日　時　2014年4月19日10時～12時
◆会　場　ALWFロッキーセンター
◆募　集　50名
◆参加費　無料
◆講　師　飛田昌男さん
(キユーピー株式会社 人事本部所属)
◆申　込　ライフサポートセンターしずおか中部事務所
TEL054-270-3963

supported by 愛は食卓にある。キユーピー

セカンドライフを応援する連続講座【今からはじめる老い支度】参加者募集!

セカンドライフを考えることは、「これからの人生」を豊かにします。誰でもいつかは迎える老い、第二の人生をどうデザインするか、あなた自身が望むものは何か。あなたの老い支度を、前向きに有意義に過ごすためのヒントをみつけてみませんか?

沼津6/4(水)
浜松6/12(木)

私の人生パワー全開　講師: 泉♥アキ さん

タレント。昭和42年『恋はハートで』で歌手デビューし『夕焼けのあいつ』が大ヒット。『独占女の60分』では、独特のキャラクターで脚光を浴びタレントとして活躍。車の運転が趣味だったことからFIA国際ライセンスを取得、日本人女性初のアフリカ・サファリラリーに出場、16位で完走を果たす。2度の乳がんは、持ち前の明るさとパワーで克服。現在、熱海市に居を構え、農業や家造りにいそしみ、スローライフを楽しんでいる。

素敵な人生の締めくくり方(終活)　講師: 武藤　頼胡 さん

一般社団法人終活カウンセラー協会代表理事。明海大学ホスピタリティツーリズム学科外部講師。「終活カウンセラー」の生みの親。『終活』という考えを普及するべく、全国の公民館や包括支援センターでセミナーを行う。自身も終活カウンセラーとして活動しながら、「終活」についての大切さを一般目線で伝えるため、毎月巣鴨、浅草でアンケート活動の実施やその年代の方からの相談を受ける。テレビ、新聞、雑誌などメディアへの掲載多数。

沼津6/11(水)
浜松7/4(金)

沼津6/23(月)
浜松6/28(土)

これからの家族と葬送・供養のあり方(現代葬儀・お墓事情)
講師: 井上　治代 さん

東洋大学ライフデザイン学科教授、NPO法人エンディングセンター理事長。単行本や新聞、雑誌を媒体に執筆や評論活動を行うとともに、大学で「いのちの教育」や「家族社会学」などを教える。また、尊厳ある死と葬送をめざしたNPO法人エンディングセンターの理事長として、市民団体の活動を続けている。一昨年は、同団体の関西初めての樹木葬「桜葬」が案内され話題となった。

会　場: 沼津 / 沼津労政会館　浜松 / 浜松労政会館　　時　間:13:00～15:00　　参加費:各回500円
申　込:(株)コープライフサービス　　TEL0120-878-940(平日9時～17時30分)
お申込は、お電話での受付のみとなります。静岡開催は、10月を予定しております。

開催報告

詳しくはwebで!!

【♪支える人のケア♪】(2013/12/7　ALWFロッキーセンター)

身近な人の病や介護等で悩みを抱えたり、疲れを感じている支える側の人が少しでも元気になれるよう、悩みを抱えすぎないためのアドバイスと音楽鑑賞で癒しを感じていただきました。
第一部　『あなたが"まいって"しまわないために』
静岡県立静岡がんセンター腫瘍精神科部長　松本晃明先生
第二部　音楽鑑賞『生演奏で癒しの時間』
稲木良光とロイヤルジャパンアンサンブルのみなさん

【おやこおこづかい教室】

(2013/12/14　ユーコープさんじの店)

「こづかいゲーム」を通じ、お金の大切さやお金を使う難しさを親子で体験。欲しいもの、必要なものの違いや、手に入れるための「お金のやりくり」を学び、最後は終了証とこづかい帳をもらいました。

【スマートフォンをはじめる前に知っておきたい３つのポイント　】

(2014/1/25ユーコープ三園平店・2/1ユーコープ国府台店・2/15ALWFロッキーセンター)

今さら聞けないスマートフォン。「携帯とスマホの違い 」「利便性とリスク」「LINE」の3点を中心に、NPO法人イーランチ　理事　桑原光子さん・中田順子さんより詳しく説明。携帯はインターネット付き携帯電話、スマホは電話機能付き小型パソコンと表現、便利な反面間違った使い方をすると高いリスクを伴うことについて触れました。
スマホと上手に付き合う為には、個人情報を常に意識し、過度に依存せず主体的に使いこなしていくことが必要と締めくくりました。

日常生活で起こるトラブルや悩みごと等のご相談に応じます。お気軽にご利用下さい。

★暮らし何でも相談
消費生活、家庭、労働、子育て、介護、年金、住まい、多重債務、融資だけでなく、生きがい、生活設計、ボランティアなど、充実して暮らすための相談なども結構です。
★豊富な相談協力ネットワークにより、適切な専門機関をご紹介します。
(弁護士、司法書士、行政機関、社会福祉協議会、金融機関、ＮＰＯ団体等)
★相談は原則無料
★県内６箇所のセンターで相談に応じます。

相談ダイヤル
受付は平日
9:00～17:00

東部：055-922-3715　西部：053-461-3715
中部：054-273-3715　中東遠：0538-33-3715
しだはいばら：054-646-6055
岳南：0545-51-3715

●「ALWF(アルーフ)ロッキーセンター」のご利用をお待ちしております!!

会議室の利用方法や料金等のお問い合わせ、お申し込み等は下記で承ります。

■問合せ先
公益財団法人 静岡県労働者福祉基金協会
ALWFロッキーセンター
〒420-0851　静岡市葵区黒金町5-1　静岡県勤労者総合会館3階
TEL 054-273-3000　FAX 054-272-7326

運動継承！

事業団体職員・労福協役員へ

贈る言葉

4回シリーズ その4

思うようにならない諸活動

菅沼　隆
（元県労福協 事務局長）

もくせい事業協会の設立も意義ある活動です。労福協が1万人を対象とした「福祉アンケート」の結果は、今後早急に高齢化社会を迎えることを反映して福祉施設が必要だと多くの方が関心を示しました。第15回の定期総会において「軽費老人ホーム」の建設を決議し、浜松市三方原台地に、聖隷福祉事業団を設置者として「経費老人ホーム」建設することを合意しました。昭和54年1月に「もくせいの里」を開所しましたがその後、運営の難しさに直面しました。現在は、聖隷福祉事業団にその運営等引継がれました。とにかく軽費老人ホーム建設について、昭和52年5月に決議し、わずか3年でスタートさせた労福協の起動力は高く評価されます。

未組織勤労者対策では労福協がその役割を担ってきました。そして、労金・全労済への利用拡大に貢献してきました。

県都に一つの枠である労働者の勤労福祉センターの建設は、その資金を含め県並びに該当市の協力がなくてはなりません。

難産の末、平成13年に清水駅南口に名称「清水テルサ」として開設されました。勤労者の余暇を活用した教養施設を始め健康づくり等に役立っています。

続いて、昭和63年頃より**勤労者リクリエーション施設**の建設を検討してきました。テニスコート・キャンプ場・ゴルフ場・等々勤労者が余暇を気軽く安価に利用できることを目的に静岡県に要望し調査費を2年続けて受けて来ました。適切な場所が無く、また、経済状況も悪くこの計画は夢で終わりました。このような取り組みも記録として残しておきたいと思います。

最後に特徴的な取り組みを主体に紹介してきましたが、活動の前段は私の前任者である、事務局長、戸倉哲男さんの発想力と行動力があってのことであり、その功績は偉大なものです。

労福協の基本理念は、労働者の社会的地位の向上にあると思います。労働者福祉基金協会の役割は、その一端を担っていると思いますが、いま一度労福協設立の意義を再認識して欲しいと思います。

時代が変わった今日、その方針の変化は当然考えられることですが、目的を失うことなく指導性を以って発展されることを強く要望するものです。

（1年間、寄稿ありがとうございました。）

人物登場

地区労福協事務局長のリレートーク　No.12

滝山（タキヤマ）　晴良（ハルヨシ）さん
島田榛北地区労福協　事務局長

出身組織：大井川鉄道労働組合
役職名：執行委員長
①趣味：映画鑑賞
②モットー：何事も楽しみながら
③最近感動したこと：「映画永遠の0」
④最近失敗したこと：呑んでいてグラスを倒し、同僚のズボンをびしょ濡れにさせたこと

今回は、滝山事務局長の1日を追ってみました。

「おはよう」彼は、車両区内にある 2 階の電気区事務所に出勤して来た。彼は専従ではなく仕事をしながら組合活動をしている。

事務所の窓からは、富士山と罐焚きが始まった SL の眺め「皆さんうらやましがりますよ。」本当にテツでなくてもいい眺めだ。

役職は区長代理、五人の作業班のリーダーである。出勤する若手区員に今日の仕事の指示を出す。本日の作業は、トロリー線の高さ・摩耗の測定だ。電柱下と電柱間の中心距離での測定。「全線測るんですか？」の質問に、あっけらかんと「全線歩いて測ります」と返事、40km を 2 週間掛けて測るそうだ。まさに地道な作業で鉄道が保守されているのかと、実感した。

今日のお昼は現場だ。駅間の線路沿い河原での昼食、「毎日が遠足みたいだよ。」と笑顔で話してくれた。大自然の中でのお昼は解放感がありオフィスで食べるより何とも贅沢だ。ただ、寒いのを除けば・・・。

彼のお弁当箱は井川メンパだ。中にはぎっしりとご飯が詰められた昔懐かしい日の丸弁当。「SL と一緒でレトロですね」の問いかけに、苦笑いしながら「そうですね」と、口に箸を運んでいた。梅干しは自家製で市販のものより実が大きく紫蘇色に奇麗に染まっている。ものすごくおいしそうだった。

夕方、現場での作業を終えると事務所に戻り、日報や雑務をこなし、組合に足を運び、就任間もない書記長と共に組合業務に就く。書記長の質問に的確？な答えを返しながらメール・ファックスの確認や、資料の読み込みなど集中しておこなう。「大変ですね」と声をかけると、「自分なんてまだまだですよ。非専従の組合ですから自分たちがしっかりしないと、って想いはありますよ。」と力強い言葉が返ってきた。「だけど、未だにわからないことだらけですよ」と本音を漏らす。書記長に「どんな人ですか？」と訊ねると、「いつも何かやっている人で、人付き合いがいいです。」と返ってきた。

「お疲れ様」時計が午後 7 時半を回って組合事務所を後にする。家路に着くのかと思いきや、今から金谷茶まつりでの屋台踊りの練習に行くという。教えてはくれなかったが、茶まつりでも何か役職に就いているらしい。「実際、当日には踊れないんですけど、どうせなら踊れるほうがいいじゃないですか。踊れる時があるかもしれないし」そう言って、体育館に入って行った。屋台踊りは 5 曲、お世辞にも軽快とは言えないステップだが、懸命さだけは伝わってくる。冬の夜に彼は汗だくだ。ストレス解消になっているのでは、と感じる。

9 時を回り今度こそ家路に着くかと思えば、中 2 になる息子の野球練習の迎えに行くという。「休日は子供のプレーに一喜一憂ですよ」目じりが下がりながら語ってくれた。聞けば、キャプテン、高 2 の次女もバレー部のキャプテンだという。親を見て育っているなと感心させられた。

最後に「忙しい 1 日ですね」と訊ねてみた。「そうですか。何事も楽しんでやってますからそう感じませんよ」と返された。彼は忙しさを楽しみに代えて生活しているんだと強く感じた 1 日でした。

中部ブロック・労働者自主福祉討論会

2014年２月22日（土）清水テルサに於いて、「中部ブロック・労働者自主福祉討論会」が各地区労福協や連合地協の役員をはじめ、ろうきん・労済の運営委員三役や職員を合わせて総勢78名の参加者にて開催されました。

開会にあたり、静岡地域労福協の井上会長より主催者挨拶及び「中部ブロック労働者自主福祉討論会」の開催に至った経緯と目的について説明がなされた後、早速本日のメインとなる、労働者福祉中央協議会アドバイザーの高橋　均氏による「労働者福祉運動の理念と歴史、そして課題」と題した講演会が行われました。

高橋講師による講演の主な内容としては、①労働者自主福祉運動（労福協、ろうきん、労済、生協等）の誕生した歴史と時代背景②今日の労働運動をめぐる時代認識と課題③労働者自主福祉運動の新たな展開、等々について、御自身が今日まで培われて来られた経験や思いのほか、現状の課題を克服せよ！との参加者に対する叱咤激励を込めた講演をいただきました。

この講演での問題提起を受けて、①労働者自主福祉運動の理念と歴史から何を学び、今後の活動に何を活かすのか②労働者自主福祉運動の原点とも言える、ろうきん、労済の育成と強化を通じて、自主福祉運動の循環をどの様に創り上げて行くのか、をテーマに参加者を６グループに分けて「グループ討論会」を行いました。

各グループによる討論会内容報告では、「ワーキングプアの人数の多さ、格差社会について改めて考えさせられた」「貧困とは貧乏と孤立の事であり、問題解決には連帯と協同は不可欠であるとの思いを強く感じた」といった感想と共に、「労働者自主福祉運動の歴史について、もっと若い組合員に伝承していく事が必要ではないか」「ろうきん・労済を通じた血の通った温かいお金の使われ方について、組合員に知らせる活動を強化していくべき」「お金にかかわる事やコミュニティ等の老後問題等、シニア組合員が知る機会を増やしていく取組みが大切」等々、多岐に亘る様々な議論が交わされたとの報告がありました。

約半日という短い時間でしたが、大変有意義で得るものが大きい「中部ブロック労働者自主福祉討論会」となりました。各参加者の自組織における今後の実践取組に期待したいと思います。

最後に、本討論会の運営にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

東部ブロック・労働者自主福祉討論会

２月15日（土）「東部ブロック・労働者自主福祉討論会」を三島市の東レ総合研修センターにて開催しました。前日から日本列島を包み込んだ大荒れの天候。大雪にも関わらず、伊豆地域、北駿地域、富士地域と遠方からも参加いただき総勢70名余で、朝８時45分スタートしました。

討論会は、土屋伊豆地域労福協会長の総合司会、豊田沼津地域労福協会長の挨拶で始まり、第１部で中央労福協アドバイザーの高橋均氏より「労働者福祉運動の理念と歴史、そして課題」の演題で連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会を築くため、労働組合・協同組合の発揮する重要性について講演をいただきました。講演後、第２部として、Ａ班からＧ班まで７班に分かれグループ討議に入っていきました。各グループでは、「労働者自主福祉運動の理念と歴史から何を学び、今後の活動にどう活かしていくのか」また、「労働者自主福祉運動の原点とも言えるろうきん・全労済の育成と強化を通じ、自主福祉運動の循環をどのように創り上げていくのか」討議していきました。グループ討議の時間70分熱い討議が繰り広げられました。グループ討議では「自主福祉運動は各地区役員には伝わっているものの一般まで浸透していない。各地域、地区で広く伝えていかなければならない」、「労福協活動等執行委員レベルに伝えなければ拡大しない」、「自分と自分の仲間の活動であることを伝える必要がある」、「ろうきん・全労済の成り立ちのおもいが組合員に伝わっていない」、「事業団体職員も出入り業者になっていないか」などそれぞれいろいろな観点からの課題の発見、今後の方向性や労組役員としての役割や責任等、幅広い意見が出されました。

最後に西山富士地域労福協会長より「課題達成に向け各地域・地区で活動を広げていきましょう」とのまとめの挨拶をいただき無事、討論会を終了しました。参加いただいた方々からは、今日のように、いろいろな団体に関わる労組役員が「労働者自主福祉運動」について議論することは初めてであり、今後の労働者自主福祉運動の方向性について議論し理解し合うことは重要であり価値のあることではないか、と言う意見も聞かれました。

ご参加いただきました多くの役員の皆さま、企画運営に携わっていただきました東部５団体会議のメンバーの皆さまに、改めて感謝申し上げます。

暮らしのあれこれ、ご相談は〈ろうきん〉へ。

お子さまの入進学を応援します!
〈ろうきん〉
教育ローン

クルマやバイクの購入から車検まで!
〈ろうきん〉
オートローン

マイホームの夢の実現に!
〈ろうきん〉
住宅ローン

つもる話はアフターファイブに。

県内〈ろうきん〉の全営業店で開催中!
水曜よりみち相談会
予約優先※1
毎週水曜日　17:00〜19:00
各種ローンはもちろん、
預金や個人向け国債、投資信託の相談もOK。※2

はずむ話はデイタイムに。

県内ローンセンターで開催中!
日曜のんびり相談会
予約制
毎週日曜日 9:00〜12:00 13:00〜16:00
3ローンセンターでは土曜日も相談OK。
浜松中央ローンセンター・静岡中央ローンセンター・富士ローンセンター

※1 ご予約のない場合、混雑状況により当日のご相談をお受けできないこともありますので予めご了承ください。
※2 個人向け国債、投資信託のご相談は予約制となります。
※　いずれの相談会も、一部開催しない日がございます。

ピポパ de ろうきん　携帯電話からでもOK!
フリーダイヤル 0120-609-123
平日 9:00〜18:00

いつもあなたの目線で。
静岡ろうきん

ZENROSAI NEWS

暮らしをトータルに見守る多彩な共済
http://www.zenrosai.coop/shizuoka
全労済静岡県本部
静岡県労働者共済生活協同組合

30th Anniversary
世代を超えて、安心をつなぐ。
こくみん共済
個人定期生命共済・こども定期生命共済・熟年定期生命共済・傷害共済・個人賠償責任共済・終身生命共済・個人長期生命共済

こくみん共済のマスコットキャラクター「ピットくんファミリー」

病気やけがの保障　**元気なお子さまの毎日を応援する保障。**

キッズワイドタイプ　月々の掛金 1,600円
2012年度の割り戻し金は★ 250円/月（掛金の約15.6%）

＋

キッズタイプ　月々の掛金 900円
2012年度の割り戻し金は★ 140円/月（掛金の約15.5%）

加入できる方
満0歳〜満14歳の健康な方
（最高満18歳の契約満了日まで保障）
★毎年5月末の決算で剰余が生じた場合、契約者に割り戻し金としてお戻ししています。また、割り戻し金は、毎年決算の5月末時点で有効契約がある方にお戻しします。
※キッズワイドタイプ、キッズタイプいずれか1つのみご加入できます。

■主な保障内容（キッズワイドタイプの場合）

病気やけがで入院したとき	日額 10,000円
骨折・腱の断裂、関節の脱臼（1契約期間に1回）	65,000円
けがで通院したとき	日額 3,000円
第三者に対する損害賠償（国内のみ）	最高 100万円（免責5,000円）

教育資金　**お子さまの将来の夢を叶えるため、キッズワイドタイプ・キッズタイプにプラス。**

教育資金として満期金を受け取るプラン
キッズ満期金付プラン

加入できる方
満0歳〜満14歳の健康な方
（各コースごとの選択した年齢満了日まで保障）

ご希望のコースをお選びいただけます。
コースの組み合わせOK!
コースごとに加入可能な年齢が異なります。詳しくは全労済までお問い合わせください。

中学入学準備コース　高校入学準備コース　大学入学準備コース

・入学準備コースには、50万円型・100万円型があります。
・満期金額は通算して300万円を限度とします。

●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。

1813S036

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠2-13-4　☎054-254-1180
東部支所（共済ショップ沼津店）〒410-0046 沼津市米山町11-24　☎055-923-1755
中部支所（共済ショップ静岡店）〒420-0839 静岡市葵区鷹匠2-13-4　☎054-254-3312
西部支所（共済ショップ浜松店）〒430-0929 浜松市中区中央3-15-37　☎053-453-5888

読者のページ

■あと3年で退職です。セカンドライフ連続講座の私のエンディングノートに興味をもちました。機会があれば受講し、終えんの心づもりをして残りの人生を豊かに過ごしたいと考えています。　富士市　佐野様

■〈ロッキー奨学金について〉経済的支援が必要な子供達に奨学金という形で応援することはもちろん素晴らしいですが、それ以上に学生のコメントに感心しました。苦労をされた上での発した言葉かもしれませんが、遊びで大学に行くのではなく、親に感謝しつつ一生懸命勉強していることが感じられます。将来、自分の子供がこんな素晴らしい子供に育つといいなと思います。　河津町　田中様

■〈ロッキーカレッジについて〉こういったセミナーを聞く機会があることを初めて知りました。今回のようにスマホや認知症など興味があることが多そうなので参加してみたいと思いました。近場開催もうれしいポイントです。　浜松市　植村様

■現在、高校生への奨学金業務の担当をしております。希望してくる者の家計はどこも苦しく奨学金なしには進学が叶わない状況です。そんな中ロッキー奨学金はとても有用な制度であると感じました。　西伊豆町　ヤスママ様

■友人が、ろうきんはATMで引き出して手数料0円なんてすごいねと言っていました。他の銀行で何度か手数料とられて、少額でも何回も利用するとばかにならないからねと言っていました。よい制度だと思います。　静岡市　宮崎様

あなたも労福協だよりにご意見、ご質問をお寄せください。掲載させていただいた方には粗品をプレゼント!

事務局員紹介
（三島地区労福協担当）

氏　名／佐々木和美（ささき かずみ）
血液型／O型
趣　味／ドライブ、スキー

昨年の三島地区労福協事務所開所にあたり、事務局員として雇用していただきました。初めは不安もありましたが、丁寧にご指導いただき、やりがいを感じながら楽しく仕事をさせていただいています。事務所は、ろうきん三島支店から徒歩1分です。気兼ねなくくつろげる事務所ですよ。多くの皆様にお立ち寄りいただける事務局となるよう頑張ります。どうぞ、よろしくお願いします。

あなたも2,000円をゲットしよう!
ホームページからの応募も可能です

1. 4月19日に静岡市青葉イベント広場で開催されるのは?
   A　ぽうさいカフェ
   B　ネスカフェ
   C　ハードロックカフェ

2. 2月26日に県労福協が県から授与されたのは?
   A「ゴールキーパー」委嘱状
   B「ゲートキーパー」委嘱状
   C「タイムキーパー」委嘱状

3. 3月1日〜2日開催された図上訓練で新たに共催団体となったのは?
   A　大阪府　　B　京都府　　C　内閣府

答えをA・B・Cの中から選んでいただき、ハガキ・FAX・E-mailの何れかでご回答ください。正解者の中から、抽選で5名様に2,000円のUCギフトカードを差し上げます。また、ご意見・ご感想等をお寄せいただき、掲載させていただいた方には粗品をプレゼントします。

■締 切 日　2014年5月31日（土）まで　[消印有効]
■記載項目　①お名前　②電話番号　③郵便番号と住所　④クイズの答　⑤メッセージ

応募先
〒420-0851　静岡市葵区黒金町5-1
県労福協「だより編集係」
FAX 054-273-3110

E-mailは労福協ホームページの郵便ポストをご利用ください。　郵便ポストをクリック

クイズ　前回の答え
（1）B　11名
（2）B　高橋　均 氏
（3）C　アール・ワンシステム

当選者
○袋井市　鳥居　活男　様
○磐田市　伊藤　真弓　様
○伊東市　杉山　育代　様
○御殿場市　土屋　知行　様
○浜松市　山田　円　様

応募総数76通の内、正解者の中から抽選した結果上記の方々が当選されました。おめでとうございます。

労福協のホームページ
*クイズの応募やご意見等の投稿ができます
検索サイトはこちらから
静岡県労福協　検索

労福協のブログ
*営業日は毎日アップしています。
検索サイトはこちらから
こちら黒金町　検索

旅行・会議・ギフト・保険のことなら

私たち

静岡ユニオントラベルにおまかせください！

私達は、事業を通じて勤労者との絆を深め、
「安心」と「安全」をサポートします。

●詳しくはこちら　http://union-travel.co.jp

公共の宿
伊豆長岡温泉
おおとり荘

平日　会議・研修プラン

団体プラン
1番人気!!

●大会議室（120名）　●中会議室（60名）　●駐車場50台以上（無料）
●会議室備品完備…マイク・天吊大型スクリーン・ホワイトボード・プロジェクター（有料）

大会議室

研修宿泊パック
【1泊2食＋会議室1日使用】
お一人様　税込9,900円（税込）

研修宿泊宴会パック
【1泊2食＋会議室1日使用＋宴会120分飲み放題・カラオケ付】
お一人様　税込12,300円（税込）

大宴会場

おおとり荘のご予約はこちらまで

静岡ユニオントラベル

〒422-8067静岡市駿河区南町11-22　労働会館3F

TEL 054(203)6877(代)　FAX 054(203)6878　http://www.union-travel.co.jp

労福協だより　2014 春号

発行日／平成 26 年 4 月1日　発行所／（一社）静岡県労働者福祉協議会
発行責任者／金指　敦之　TEL.054-221-6241　FAX.054-273-3110

●Eメール　rofukukyo@mx1.s-cnet.ne.jp
●インターネットホームページ　http://plaza3.dws.ne.jp/~scn00855/

検索サイトからもご覧いただけます
静岡県労福協　検索